

可塑性グラウト注入材

# クリーニングアウト工法

## 【クリーニングアウト工法とは】

クリーニングアウト工法は、セメントを水硬成分とした主材に可塑化材である”CG-1000”と”CG-2000”をホース先端で添加・混合（1.5 ショット）すると共に注入する工法です。可塑化材添加後瞬時に可塑化させ、その後のゲル強度を発現させます。これによって、限定注入を可能とし、材料の逸流やダレが極めて少なく、水に対して高い材料分離抵抗性を示します。

## 【特 長】

- ①主材にはグリーン調達物質であるフライアッシュや高炉スラグ等の再生資源を利用することができ、環境負荷低減に貢献出来ます。
- ②主材にフライアッシュを用いることにより、練り置き時間が長くなり、より長距離圧送が可能になります。

## 【フライアッシュを用いた配合例】

クリーニングアウト工法は、状況、用途に応じて、種々の配合を選定できます。

（可塑化材）

品 種	種 類	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	荷 姿
CG-1000	アクリル系ポリマーエマルジョン	1.05	18kg (缶)
CG-2000	セメント鉱物系白色粉体	2.90	20kg (紙袋)

（配合例）

単位量 (kg/m <sup>3</sup> )								設計圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )
主 材				可塑化材 A		可塑化材 B			
セメント	フライアッシュ	水	FT-80	CG-1000	水	CG-2000	水		
935 <sup>*</sup> )	165 <sup>*</sup> )	527	1	2	48	10	47	18	1.74
680 <sup>*</sup> )	120 <sup>*</sup> )	630	1	3	47	15	45	6.0	1.54
600	200	610	0					3.0	1.52
400	400	580	0					1.5	1.49

\*）フライアッシュB種セメントの使用可能。その場合はセメントとフライアッシュの合計量使用（フライアッシュは産地や銘柄による品質の変動がある場合がありますので、必ず、事前に試し練りを行い、物性を御確認下さい。流動性の調節には流動化剤（デンカ FT-80）を併用願います）

# Denka

デンカ株式会社 特殊混和材部  
東京都中央区室町二丁目1番1号  
tel : 03-5290-5363  
fax : 03-5290-5085